

旭洋造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 昭和17年創立。コンテナ船やタンカーなど、内航船や海外荷主向け近海船を中心に多種多様な船型を建造。
- 日本の中小造船所としては初めてISO 9001認証を取得。品質管理の維持・向上に継続的に取り組んでいる。
- 環境意識の高まる国内外の顧客ニーズに対応しつつ生産効率を高めることが今後の競争力向上に向けた重要課題。



計画の概要

- ジブクレーンの大型化並びに船殻ブロック及び艀装品の運搬効率化に取り組み、工数の削減、工程の短縮及び動力費の削減を実現し、環境対応船舶の建造に当たっての生産性を向上させる。
- 同社の強みである多船種建造対応能力を維持しつつ、環境性能の高い新船型の船舶を開発し、内航船市場に供給することにより、内航海運の省エネ化に貢献するとともに、今後のマーケットニーズへの対応を目指す。

<計画実施期間> 2021年11月～2026年3月

<実施場所> 旭洋造船(株) 本社工場(山口県下関市)